No.とプログラム名	No.１　公立病院のお仕事体験～命を支えるプロフェッショナルを知ろう～
企業・団体名	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
実施日	８月７日（金曜日）
会場	【磯子区】横浜市立脳卒中・神経脊椎センター　会議室及び各部門執務室内
対象学年と参加人数	小学４～６年生、参加児童数 17 人
参加の目的 （150 文字程度）	脳卒中・神経脊椎センターは、横浜市立病院として、多くのお子さまに医療や医療従事者の存在を身近に感じてもらいたく参加いたしました。 本体験を通じて、将来、医療の世界で一緒に働きたいと感じるきっかけになれば嬉しく思います。

⑴ プログラム内容

病院内の様々な職種の医療従事者が、仕事内容の紹介や、特色を活かした体験プログラムを実施しました。

⑵ 当日の流れ

時間	内容
13 時 00 分～13 時 15 分	集合・着替え、病院長あいさつ、自己紹介、写真撮影
13 時 20 分～16 時 10 分	各部署でのお仕事体験 （各コース３～５名の２班、共通は両コース共通で体験） ・A コース　薬剤部、検査部、画像診断部 ・B コース　リハビリテーション部、栄養部、臨床工学部 ・共通　　医師、看護部、医療の質管理室
16 時 15 分～16 時 30 分	振り返り









⑶ 参加児童の様子や意見、感想など

・こういう場を通して、より深く知れたのがとても良かったです。体験もすべて楽しく、良い思い出になりました！ありがとうございます！
・全ての部門で、かんじゃさんの気持ちを第一に考えて行動をしたり、食べものをさらに食べやすくなどとよく考えているところがすごいなあと思いました。
・カテーテルを自分がやることができて、いい体験でした。
・全部楽しかったのでまた来たいです。
・車いすのセッティングをはじめてやったからべんきょうになりました。

⑷ 企業・団体側の気づきや感想など

・病院で働くお仕事というと医師や看護師を思い浮かべる人が多いと思いますが、病院はいろいろな職種の方がいて成り立っているということを今回のプログラムで学んでいただけたと思います。子どもたちにとって世界の広がる体験となっていれば嬉しいです。
・最初は少し緊張していた子どもたちでしたが、時間がたつにつれて笑顔が増え、楽しそうに参加する姿が印象的でした。この体験をきっかけに、将来の可能性や選択肢がさらに広がることを願っています。
・将来医療従事者を目指すかもしれない子どもたちに対し、医療の大切さや医療従事者の想いを伝え、興味をもってもらうことも病院ではたらく私たちの大切な仕事の一つだと改めて実感しました。